

新年度予算、第1回町議会定例会で可決

松岡町長、町の価値向上に取り組み

25年度一般会計、4特別会計(国民健康保険、簡易水道事業、公共下水道事業、町立診療所)の各予算審議を行う東川町議会第1回定例会が会期8日間で開かれ、総額約57億9千420万円あまりの新年度予算、かみずれも全会一致で可決成立しました。(3ページから13ページ、予算概要は14、15ページ)



平成25年度行政を執行するに当たり基本的な考え方を申し上げ、議会並びに住民の皆さまのご理解をお願い申し上げます。

第1 はじめに

3年数カ月及んだ民主党を中心とする政権から自民党、公明党を中心とする政権へと交代することになりました。この間、進められてきた国の権限や財源を地方へ移譲する地方分権改革が実現中途にな

ってしまったことは残念であります。一方、今回の政権交代により地域の社会資本の充実に大きな期待を

しています。地方交付税など地方を取り巻く財政事情が以前の自民党政権時代に戻らないようにしっかりと注視をしなければなりません。

地方行政の使命は、自治体が持続し、自立を目指しながら、住民福祉の向上を図ることにあります。国や北海道の政策を積極的に活用し、近隣自治体間の相互連携を図りながら、お互いに良くなる

共益の視点が大切であると考えています。

本町においては、人口横ばい状況が続く中で地域経済の活力を維持し、向上させるためには、国内にだけ目を向けるのではなく、発展著しい東アジア地域など広く、積極的に世界に目を開く必要があります。このような中、近隣の国々と一部においては緊張関係にあります。地域草の根レベルでの「共益の視点」での相互理解と交流が最も大切



なものであると考えています。

東川町の地理的な条件と魅力、そして人々の持つ、知的な力を組み合わせ、「人もの、情報」が積極的に動く環境を作り出さなければなりません。

近隣諸国では北海道に対するイメージは極めて高いものがあり、このイメージを生かした各種の取り組みを積極的に行うとともに支援し、地域の活力を向上させたいと考えています。

このような中、プライム・タウン計画に定める5つの基本目標の実現に努め、住民福祉「住民の繁栄、住民の安全・安心、住民の幸福」の向上に努めます。

第2 自立へのステップ ジャンプ3「勇気ある行動による魅力づくり」

本年度はプライム・タウンづくり10カ年計画の後期5カ年計画がスタートします。その実現化に向けて、人々の有している知恵の力と自然的、歴史的、文化芸術的な魅力を発掘し、町の価値向上に取り組めます。

1894(明治27)年に開



拓測量が始まってから、来年開拓120年を迎えることとなります。この120年間の開拓に学び、尊敬し、未来を展望しながら、創造的な福祉社会を実現していくためには勇気ある行動を展開する必要があります。勇気ある行動とは、「学問や豊かな才能ではなく、その機に及んでの行動力」であると考えております。自治体行政の大きな使命であります住民福祉の向上は、持続できるより良い状態を創造することにあります。マイナスのものは縮小、またはプラスへの転換を目指し、さらにプラスのものは、より拡大するような取り組みが必要であります。マイナストと思われるものがプラスへ転換されることにより、より大きな力をもった魅力となり得るものもあると考えており、その努